



## 市町村派遣職員募集案内

*JAPAN INTERCULTURAL ACADEMY OF MUNICIPALITIES*



公益財団法人 全国市町村研修財団  
全国市町村国際文化研修所

## J I AMで共に「働き」、「学び」ませんか

全国市町村国際文化研修所（J I AM：ジャイアム）では、全国の市町村から派遣された多くの職員にスタッフとしてご活躍いただいています。

全国の市町村の人材育成を通じて、地域の振興と住民福祉の向上を目指しているJ I AMで、多種多様な研修の企画や運営に携わっていただくことにより、第一線で活躍されている講師の先生方や他の自治体の職員等との交流など、今までにない幅広い経験をすることができます。

J I AMでの勤務経験は、将来の自治体、地域社会を担う人材育成の大きな推進力となると確信しております。

全国市町村国際文化研修所 学長 小池 信之



## INDEX

JIAMの紹介	1
JIAMへの職員派遣に関する基本的事項	2
派遣職員の育成 ～派遣元自治体のメリット～	3
JIAMへの交通機関・位置	6

# 全国市町村国際文化研修所 (JIAM) の紹介

全国市町村国際文化研修所 (JIAM) は、平成5年4月に財団法人全国市町村振興協会により開設され、平成20年10月以降は、市町村職員等に対する研修を専門に行うことを目的として設立された財団法人全国市町村研修財団 (平成26年4月に公益財団法人に移行) のもとで運営されています。

地域社会の課題がますます多様化・複雑化するなかで、住民に最も近い市町村には、数多くの課題への取組が求められており、最前線で働く職員の皆様には住民からの大きな期待が寄せられています。

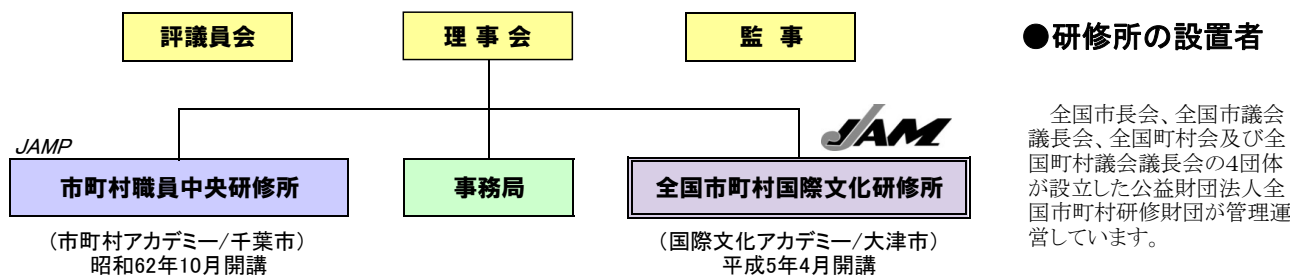
JIAMでは、こうした地方自治体を取り巻く様々な課題や環境の変化に柔軟に対応し、国際理解と国際感覚を持った企画力・課題解決力の高い人材を育成するため、地方自治を支える全国の市町村長、議員、職員等への高度で専門的な研修の提供に努めています。近年では年間6千人規模で研修を実施 (※) し、これまでに累計12万5千人を超過受講者数となりました。

## ○主な事業

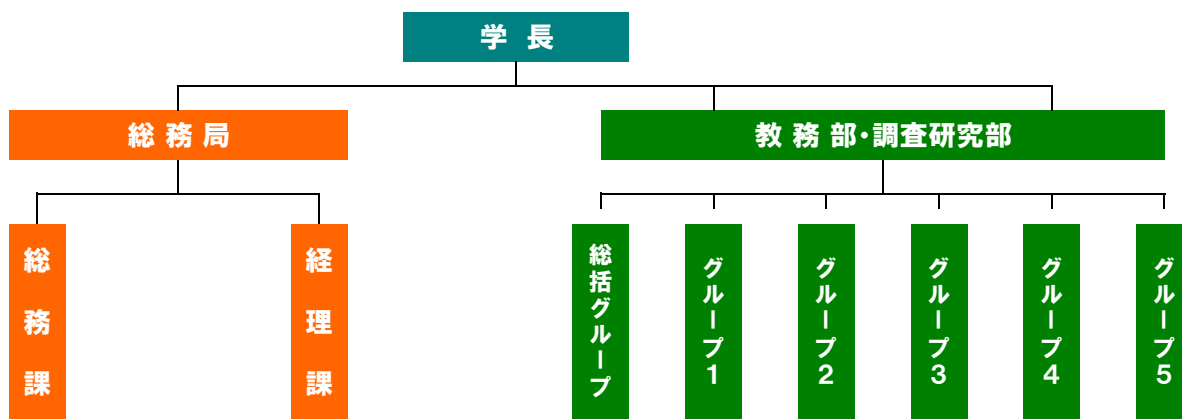
- (1) 市町村の職員、市町村長、市町村議会議員等、地域社会の振興の担い手に対する高度な研修
- (2) 人材育成に関する調査研究並びに情報の収集及び提供
- (3) 市町村等が行う人材育成に対する協力

令和7年度	研修数：105研修	受講者数：5,600人
令和6年度	研修数：102研修	受講者数：5,942人
令和5年度	研修数：109研修	受講者数：6,022人
令和4年度	研修数：110研修	受講者数：5,000人

## 全国市町村研修財団の組織図



## JIAMの組織図



JIAMの職員数 計46名 (令和8年4月1日現在)		
○総務省派遣職員 5名	○滋賀県派遣職員 4名	○市町村派遣職員 14名
○財団職員 17名	○臨時職員等 6名	

### 令和8年度における全国の市町村派遣職員14名の派遣元自治体

越前市 1名	長野市 1名	須崎市 1名	大垣市 1名
藤枝市 1名	幸田町 1名	大津市 1名	京都市 1名
吹田市 1名	天理市 1名	防府市 1名	美祿市 1名
土佐清水市 1名	日置市 1名		

# JIAMへの職員派遣に関する基本的事項

## 1 派遣職員に担当していただく職務

- 研修の企画、実施、評価、改善ポイントの検討(年間5～8本程度)  
※可能な範囲で海外研修等に随行する機会も付与
- 研修に関する調査研究(先進的自治体や有識者訪問、学会参加等)



## 2 派遣期間

- 原則として2年間(応相談)

## 3 求める職員層

- 主事～主査級 20歳代後半～40歳代前半(応相談)  
(研修企画のためにも複数箇所の職務経験者が望ましい)

## 4 給与及び福利厚生

- 給与及び諸手当は、公益財団法人全国市町村研修財団(以下、「財団」という。)が負担
- 市町村職員共済組合及び派遣元の職員互助会等には引き続き加入しつつ、共済組合の長期及び短期の事業主負担金等は財団が負担
- 現住所からの通勤が困難な方に対しては、財団が保有する職員宿舎を貸与(使用料負担有・世帯での入居可)

## 5 その他

- 派遣にあたっては、市町村と財団との間で、派遣に関する協定を締結
- 年に3回程度の帰庁報告の出張予算を確保しており、派遣元への定期的な帰庁報告が可能
- 女性職員も多数在籍し、安心して働ける職場
- 長く研修に携わってきたプロパー職員に加え、総務省、滋賀県、京都市、他自治体など多様な出身の職員で構成される全国組織での勤務経験を、職員をステップアップさせる機会として活用することも可能

# 職員にJIAMで成長の機会と貴重な経験を 派遣職員の育成 ～派遣元自治体のメリット～

市町村等の組織、業務内容等を変革することにより、地域の振興と住民福祉の向上に貢献するためには、まず職員自らが学習し、変化し、成長を続けなければなりません。

JIAMでは、他自治体職員等とのネットワーク形成の機会や、職場内、職場外の豊富な研修機会を提供しています。

JIAMで学び経験したことを派遣元に財産として持ち帰っていただくことは、派遣元自治体にとっても大きなメリットになると考えています。

## 1 ネットワークの形成

### ○ 多様な人たちとのネットワーク形成

大学等の研究者や中央省庁職員、実践活動を行う民間団体職員など、第一線の講師に加え、受講生、またJIAMのプロパー職員、総務省や他各自治体からの派遣職員等、多様な人たちとの交流を通じた幅広いネットワークの形成が図れます。

## 2 政策形成能力、企画・実行力等の向上

### ○ 政策形成能力の向上

JIAMの研修は、自治体の様々な分野の政策を、いかに立案し、実装していくかという過程を扱っています。多様な関係者とともに、国内外の先進的な自治体政策など幅広い分野の研修に従事することにより、国内外の情勢や過去から未来への時間軸を意識した、俯瞰的な視点に基づく政策形成能力の向上を図るとともに、企画倒れに終わらない、地域における政策実装のための着眼点等を磨くことができます。

### ○ PDCAを生かす能力の向上

JIAMの研修にはPDCAサイクル（企画書の作成、企画会での説明・協議、講師との交渉、広報資料の作成、研修の進行管理、評価会での報告、改善点のとりまとめ評価等）を取り入れており、企画・実行・評価・改善能力の向上が図れます。

### ○ プレゼンテーション能力の向上

研修の司会進行や企画・評価会での説明、出前研修の講師など、人前で話すプレゼンテーション能力の向上が図れます。

## 3 過去の職務経験や派遣元ニーズの活用

### ○ 現場での経験や派遣元ニーズを活かした研修の企画・実施

市町村行政の最前線で活躍した経験を活かし、今、自治体で求められている政策に係る実効性の高い研修を企画、実施することで、JIAMの研修を自治体の現場で求められる研修にブラッシュアップすることも期待しています。

## 4 豊富な職場内研修の機会

- J I A M研修の受講・聴講  
参加可能なものについては、受講生と同じく J I A M研修を受講できます。各分野の第一線の講師をお招きして、年間100本程度の研修が実施されています。  
フルタイムで受講できない研修についても、業務に支障のない範囲で、自席からの聴講が可能です。
- 外部講師の招聘による研修  
ハラスメントの防止やサイバーセキュリティなど、職場運営能力の向上に資する職員研修を年に数回実施しています。
- 研修講師としての実践機会  
J I A Mが実施する研修の講師として、受講生の指導に当たる機会もあります。

## 5 様々な職場外研修、調査等の機会

- 市町村アカデミー（J A M P）研修の受講・聴講  
J I A Mだけでなく、千葉の市町村アカデミー（J A M P）の研修に受講生として参加することや、一部の講義を聴講することも可能です。  
また、J I A M派遣中に昇格された方には、J A M Pの階層別研修を受講することもできます。
- 学会・セミナー等への参加  
研修に関連する各種学会、セミナー等に参加し見識を高めるとともに、全国の学識経験者とのネットワークづくりを行なうことが可能です。
- 自治体事例調査  
研修企画のため、テーマに応じて、全国の先進自治体を訪問し、調査・意見交換を行い、見識やネットワークを広げることが可能です。

## 6 海外研修の機会

- J I A M海外研修の企画・運営  
J I A Mでは現在、北米、ヨーロッパ、アジアの3つの海外研修を実施しています。  
研修担当者として、企画段階から参画し、現地での運営から帰国後のレポートづくりまで経験する機会があります。
- E R O P A・日中韓3か国地方政府交流会議への参加  
J I A Mでは、毎年E R O P A（行政に関するアジア・太平洋地域機関）の団体会員として、会議に参加するとともに、日中韓3か国地方政府交流会議にも参加しています。それらの会議に参加し、国際的な感覚を体験する機会もあります。

## 7 その他

### ○ 自発的なリカレント学習の拠点としての活用

J I AMは京都駅まで約15分、大阪駅まで約50分という好立地に位置しています。両駅周辺には社会人向け大学院が集中しており、自らの意思で学びに挑む職員にとって、学びと実務を両立できる最適な環境です。



研修実施風景



図書室



環境美化活動



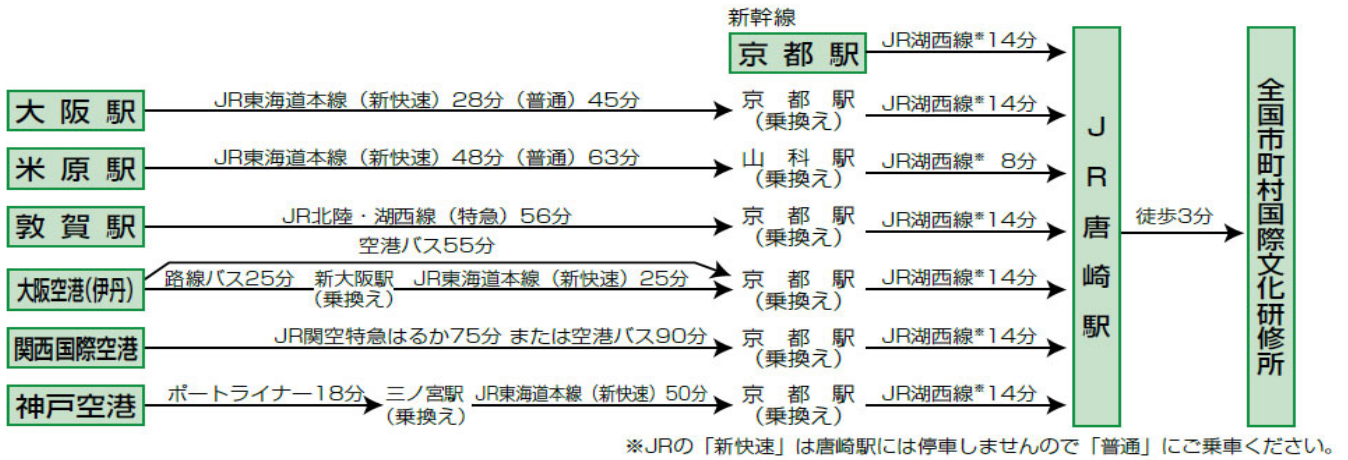
演習での司会進行



消防訓練の様子

# JIAMへの交通機関・位置

京都駅からJR湖西線14分、唐崎駅から琵琶湖方面に徒歩3分



研修所周辺地図

公益財団法人 全国市町村研修財団  
**全国市町村国際文化研修所**  
 〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号  
 [代表・総務局] TEL: 077-578-5931 E-mail: soumuka@jiam.jp FAX: 077-578-5905  
 [教務部・調査研究部] TEL: 077-578-5932 E-mail: kyoumu@jiam.jp  
 JIAMホームページ <https://www.jiam.jp>